

2016-B

I 1-B

拠出金・基金
の名称

国連森林フォーラム拠出金

種 別

☒ イヤマークのみ ☐ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】 国連経済社会局 (UNDESA) / 国連森林フォーラム (UNFF)

【所管官庁担当局課・室名】

農林水産省大臣官房国際部海外投資・協力グループ/ 林野庁計画課海外林業協力室

【当該任意拠出金の目的・用途等】

持続可能な森林経営の推進に向けた国際的な政策対話の場である国連森林フォーラム (UNFF) においては、各加盟国に対して森林経営の状況をモニタリング・評価した上で、その結果を定期的に報告することを求めている。第11回UNFF会合 (2015年) において、SDGsを含む「2030アジェンダ」と調和した取組を進める観点から、UNFFを主体とする「森林に関する国際的な枠組 (IAF)」を2030年まで延長することを盛り込んだ決議が採択され、同決議の中で、UNFFの国別報告に関しては、「基準・指標プロセス」等既存の報告活動と連携を図りつつ、そのフォーマット及びサイクルを検討することとされた。

本事業では、UNFF事務局に日本人専門家を派遣し、各国が森林の状況を効果的・効率的にモニタリング・評価・報告する取組を推進する観点から、UNFF国別報告のフォーマット及びサイクルの検討の取組を支援する。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率 (%)
平成28年度	24,694	206	-	1米ドル=120円	100
平成27年度	25,361	231	-	1米ドル=110円	100
平成26年度	-	-	-	1米ドル= 97円	-

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

第11回UNFF会合 (2015年) に採択された決議において、2017年から2030年を期間とする戦略計画を定めることとされ、アドホック専門家会合 (Ad-hoc Expert Group, AHEG) が開催され、2017年1月のUNFF特別会合において、FAOの世界森林資源評価や SDGs等の地球規模での評価サイクルを考慮し、任意の国別報告の取組を進めること等を盛り込んだ「国連森林戦略計画2017-2030」が採択された。

【備考】